

四組 四場面

作者が主人公があまり好きではない喜作を登場させたのは、えびフライがどれほど主人公にとってすごいものなのかを、真新しいTシャツと何連発かの火花を身につけている喜作との二人を讀者に比べてもらうためと、主人公の気持ちを分かってもらうためである。

伊藤くん

作者は、主人公がえびフライをどれだけ価値があるものと思っているか、またどれだけうれしく思っているかを、読む人に分かってもらうために、喜作を登場させた。

古川君

作者は、主人公がえびフライをどれだけ価値があるものだと思っているか、また、どれだけうれしいか、読む人に分かってもらうように、喜作を登場させた。

松下君

作者は、父親が苦勞をして持って帰ったえびフライが主人公のところでは見たことのないようなものだと感じさせたかったし、えんぴフライとしか言えなかったのが、練習をして、えびフライと言えるようになったことを伝えるために、喜作を登場させた。

杉山君

作者は、えびフライがどれだけ大切なのかを思わせるために、主人公が好きではない喜作をわざわざ偉そうな態度で登場させた。

青木爽香さん